

押えて、写真を少し回転させて地形を一致させるか、または、写真はそのままにして、実体鏡の向きを、少し回転させ、地形が一致し立体的に見えるように調整して観察する。

(3) 実体鏡を用いた空中写真の判読

福島県は地学教材には大変恵まれ、特に、地形

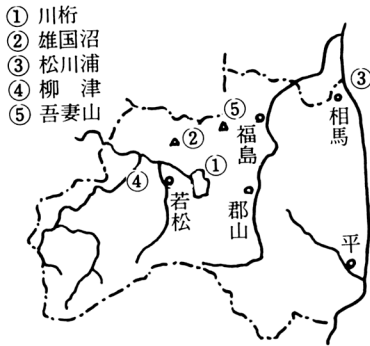


図11 県内の観察地の位置図

では目をみはる素晴らしい教材が各地に存在する。

それらの地形から、段丘、扇状地、断層崖、海食崖、カルデラの代表的なものを取り上げ、実体鏡を用いて、それらの地形の特徴を観察する。

〈実習3〉

図13は、猪苗代町東方の川桁山地と長瀬川流域の空中写真である。

実体鏡を用いて、次の地形の特徴を観察せよ。

- 1 川桁断層による三角面をした断層崖
- 2 V字谷の平野部への出口に見られる扇状地
- 3 長瀬川に沿ってみられる段丘地形

—チェック・ポイント—

1 川桁断層と断層崖

猪苗代スキー場から東の川桁山地を眺めると、猪苗代盆地と境する川桁山地の西端部は、北北西—南南西方向に鋭い刃物で切り取られたように、三角面が直線的に並んでおり、断

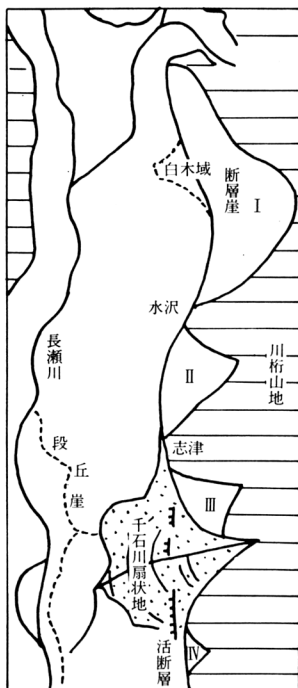


図12 川桁断層 断層崖 扇状地 (解説図)

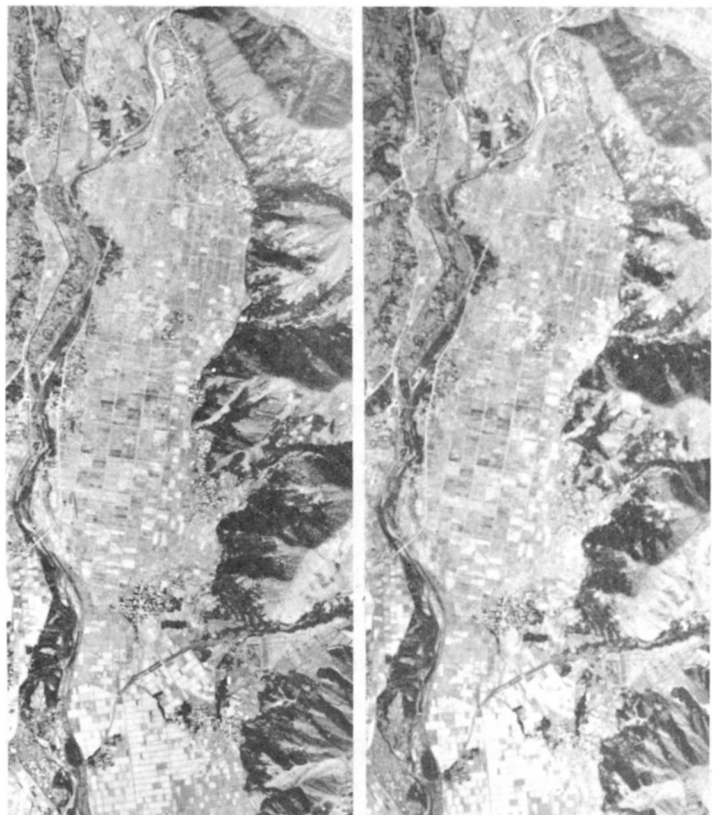


図13 川桁断層 (空中写真) (国地総複発第179号)